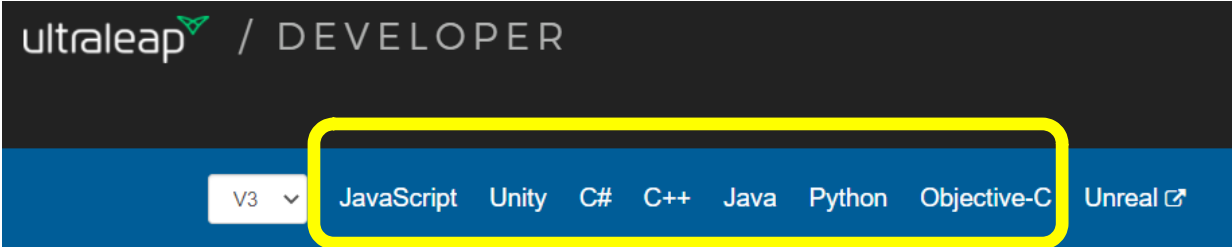


■ Processingの入手

ここでは、Processing(プロセッシング)を利用してLeapMotionを動かします。
Processingは、ビジュアルデザインのためにつくられたプログラミング言語、または統合開発環境のことです。

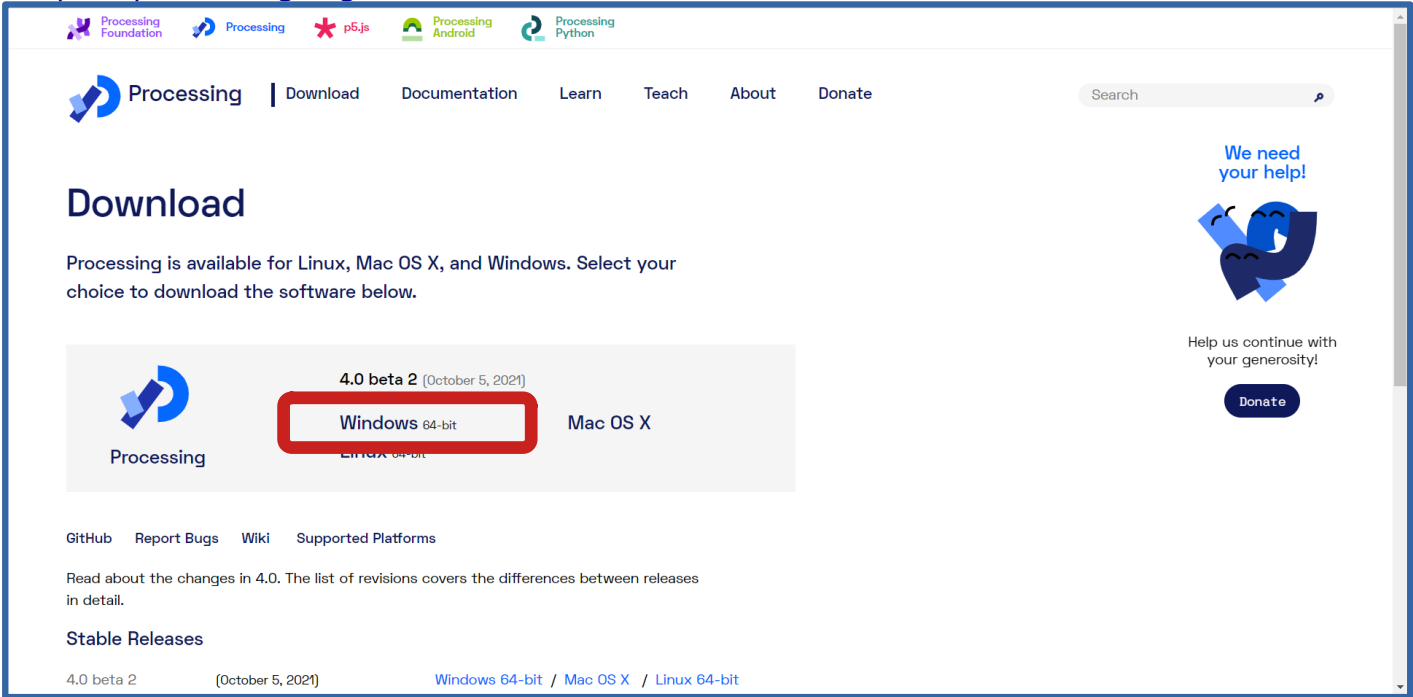
電子スケッチブックの基盤としても利用でき、コードはプログラミング初心者向けに設計されています。
オブジェクト思考のJavaを単純化して、かつグラフィック機能に特化した言語です。

下記のデベロッパーページに、LeapMotionを制御できる言語が、まとめられています。
<https://developer-archive.leapmotion.com/documentation/java/index.html>



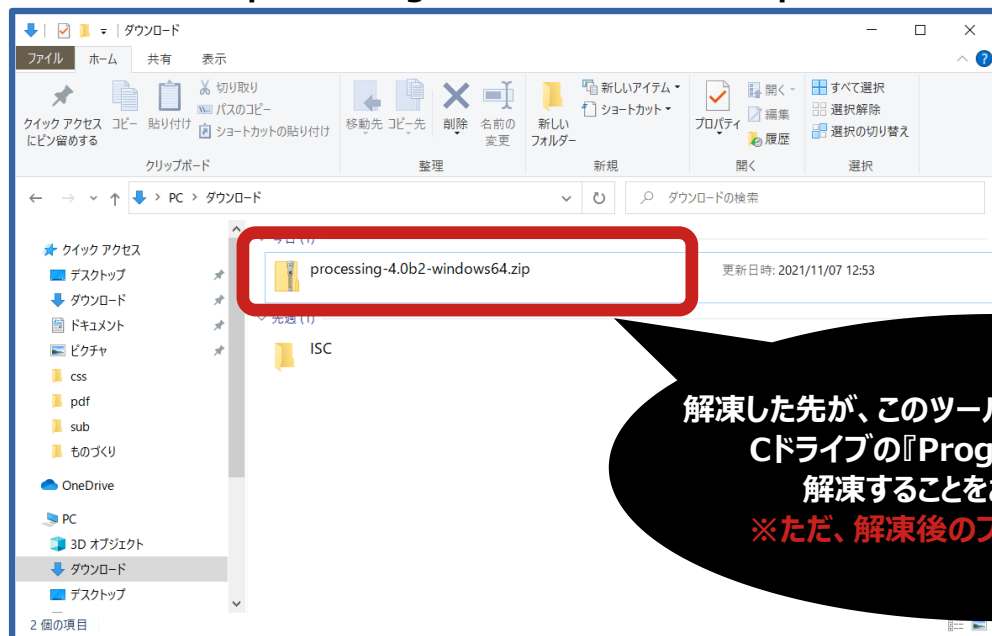
Javaや、Unity、C#、JavaScript、Python、Object-Cなど、様々な言語で動かせます。
今後は、どの言語をつかって開発するか検討する場面がでてきます。どんな言語がどういう特徴をもっているのか、また、それぞれの学習コストを考慮しながら探りましょう。

① 次のサイトから、Processingの開発ツールをダウンロードします。
<https://processing.org/download>

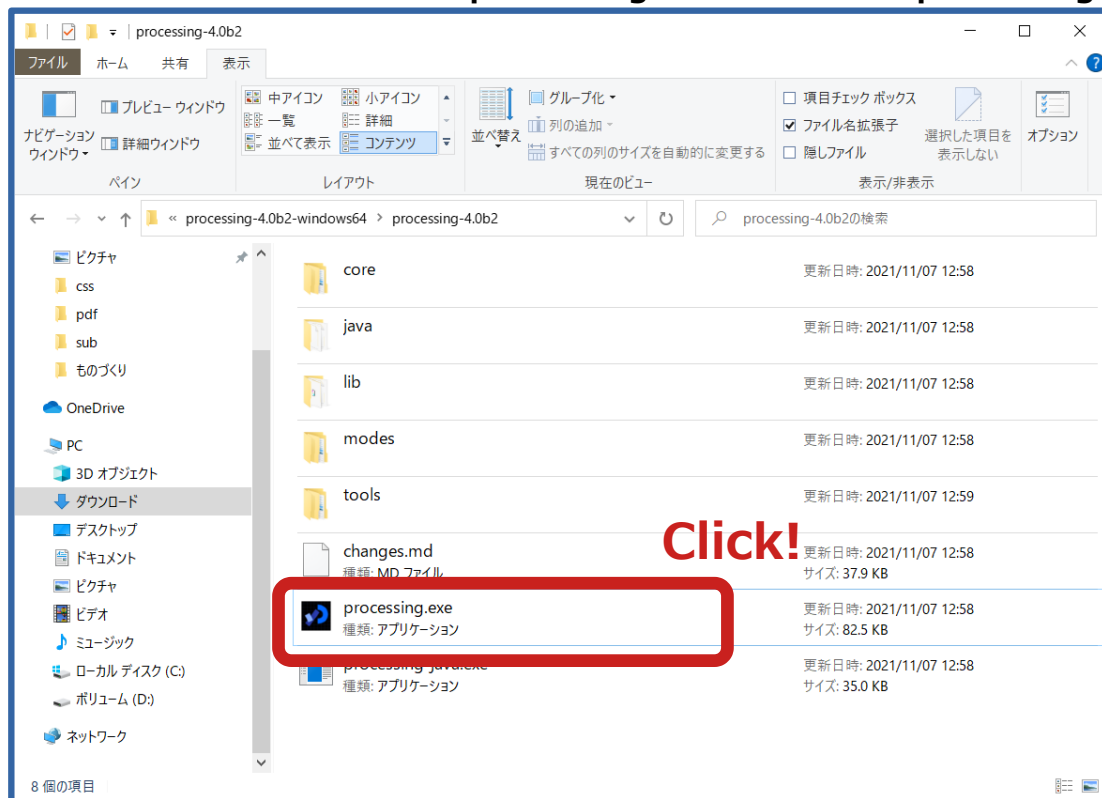


※ここでは、『Windows 64bit』環境を選択します。

②ダウンロードされた『processing-4.0b2-windows64.zip』を解凍します。



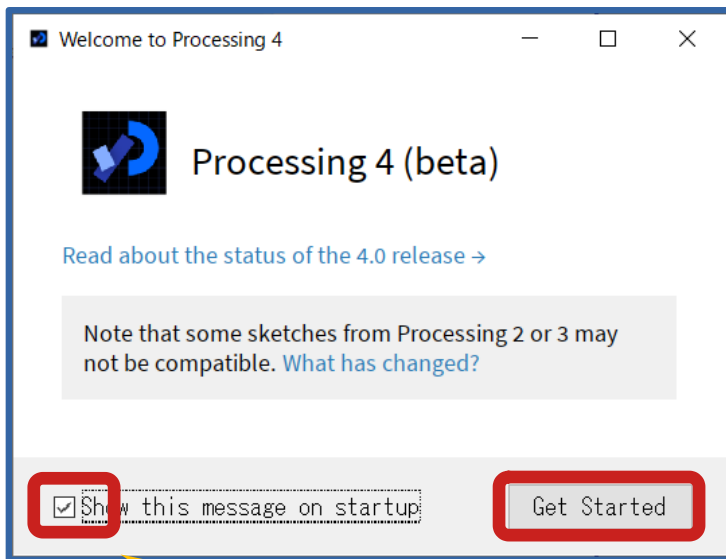
③エクスプローラにて、解凍したフォルダ『processing-4.0b2』内にある、『processing.exe』を実行します。



④Processingツールが起動したら、完了です。

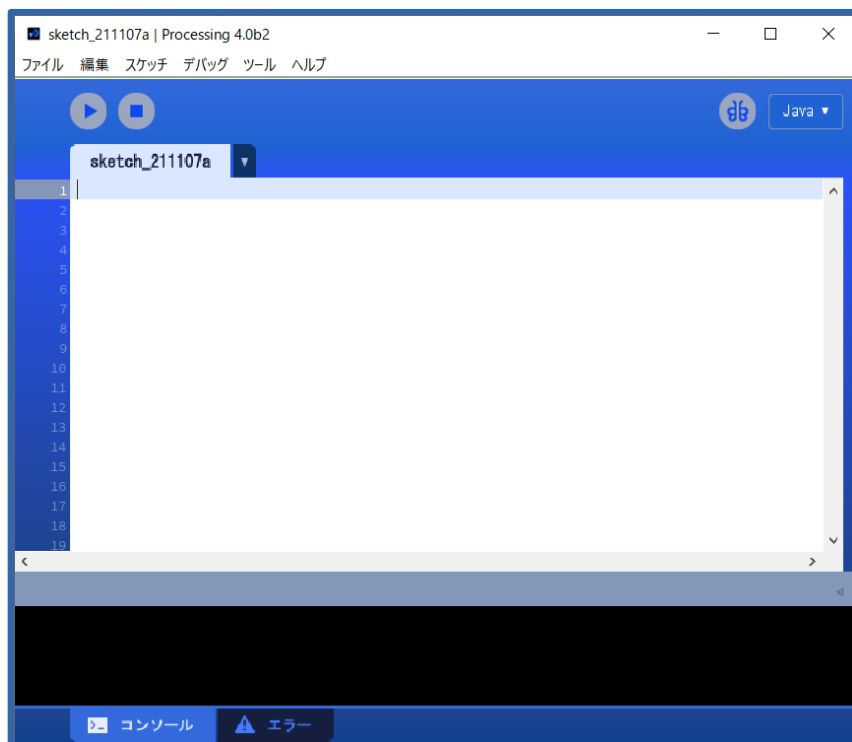


数秒のオープニングの後...



このチェックを外して、
『Get Startde』をクリックしたら
次から表示されない。

ウェルカム画面と、



起動画面が表示される。